



令和 4 年 3 月 10 日
午前・午後 8 時 40 分 受領

No. 1

議長	事務局長	係

令和 4 年 3 月 10 日

愛南町議会議長 原田 達也 殿

愛南町議会議員 池田 栄次

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(答弁一括方式 ・ 答弁分割方式)

質 問 の 要 旨	答弁を求める者
<p>1. <u>新型コロナウイルス追加接種と5歳から11歳のワクチン接種について</u></p> <p>新型コロナウイルスオミクロン株の拡大により、全国で感染者数の高止まりが続いています。愛南町では、関係機関の迅速な対応、町民の感染防止行動によって2月4日以降、感染者無しが続いています。しかし、愛媛県内では、感染者数の高止まりが続いており、近隣市町でも感染者がでています。感染力の強いオミクロン株への対応にあたって、ワクチンの3回目接種は、発症予防・重症化予防の要となる観点から、追加接種の速やかな実施が成されています。また、小児の感染者は増加傾向にあり、保育所や学校での感染拡大により家庭内で中高年世代へ感染する等の観点から、緊急のまん延予防のために実施するという趣旨を踏まえ、今後流行する変異株の状況、ワクチンの有効性・安全性に関するこれまでの一定程度の知見、諸外国における小児への接種の対応状況等を勘案して総合的に判断し、5歳から11歳の接種が実施されています。出来るだけ早く、安全に、多くの町民に接種を受けて頂くことが必要と考えます。そこで質問させていただきます。</p> <p>(1)ワクチンの3回目接種の現状と今後の工程、接種による効果や副反応、留意事項等の情報提供の状況に</p>	町長

<p>ついて見解を伺います。</p> <p>(2)5歳から11歳のワクチン接種の現状と今後の工程、接種による効果や副反応、留意事項等の情報提供の状況について見解を伺います。</p>	
<p>2. アコヤガイ稚貝の大量死について</p> <p>アコヤガイ稚貝の3年連続での大量死によって町内の母貝養殖業者は経営的にも精神的にも窮地に追い込まれています。愛媛県の真珠養殖は、稚貝を育てる母貝養殖業者と、その貝を使って真珠を育てる真珠養殖業者に分かれており、母貝の激減は真珠業界全体に影響します。</p> <p>一刻も早い原因究明が求められていましたが。国の水産研究所・教育機構と愛媛県によって、原因の新種ウィルスが特定されました。生産量全国一位の愛媛県の真珠産業を守り、母貝養殖業者の経営の安定を図るために、早急な支援対策が必要と考えます。</p> <p>そこで質問させていただきます。</p> <p>(1)大量死の現状と現在の支援状況について見解を伺います。</p> <p>(2)今後の支援対策について見解を伺います。</p>	町長
<p>3. 防災力向上に、気象防災アドバイザーの活用を</p> <p>近年の豪雨災害では、災害リスクの情報が明らかになっていない場所で、多くの被害が発生しました。地球の温暖化などの影響により、自然災害が激甚化・頻発化しており、随時・的確な防災対応が求められる中、防災インフラ等の整備が進められています。このハード面の整備と共に、より正確・迅速に情報を収集・発信し、被害を最小限に抑える行動を促すためのソフト面の取り組みも重要です。過去の災害の発生事例などの記録や、河川の流量の推移などのリアルタイムの情報を融合し、出来る限り狭い</p>	町長

区域での具体的な被害を予測し、避難指示等を発令する体制の整備が有意義であると考えます。今後は、事態の予測や防止、避難などについて気象防災アドバイザーの活用が対策の一助になると考えます。

見解を伺います。